

令和7年度 地域学校協働活動 実践事例集



発刊にあたって

現代社会の急激な変化の中で、子供たちに「生きる力」を育むためには、学校教育だけでなく地域社会全体で成長を支える環境が不可欠です。文部科学省は、学校と地域が対等なパートナーとして目標を共有し、相互に協力し合う「地域学校協働活動」を、持続可能な社会づくりの基盤として推進しています。

この活動は、放課後や休日の学習支援、登下校の見守り、伝統文化の継承など、多様な参画を通じて子供たちの自己有用感を高めるとともに、教員の業務負担軽減や地域の絆の再構築にも大きく寄与します。単なる「学校への支援」に留まらず、学校を核とした「地域づくり」を進めるものであり、地域住民が主体的に関わることで、地域課題の解決にもつながる意義深い取組です。

本県におきましては、令和6年3月に改訂された「第2期宮城県教育振興基本計画～志を育み、明るい未来の創造へ～」において、「学校・家庭・地域が連携・協働して子供を育てる環境づくり」を重点的な基本方向に据え、「みやぎの協働教育」をさらに進化させてきました。子供たちが地域社会の中で多様な大人と触れ合い、ふるさと宮城への誇りと愛情を深めることは、まさに本計画の目指す姿に直結するものです。学校と地域が目標を共有し、双方向で連携・協働する取組は、子供たちの豊かな人間性や社会性を育むだけでなく、教職員が地域と課題を分かち合うことで、教育活動の質的向上と持続可能な運営を支える力となっています。

このような中、大河原管内2市7町教育委員会と仙南地域広域行政事務組合教育委員会、管内各小・中学校の皆様には、日頃より学校教育活動及び地域学校協働活動の推進に多大なる御尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。また、各市町の確かな実践を御紹介いただき、本冊子「地域学校協働活動実践事例集」を発刊できましたこと、大変喜ばしく思います。

この「地域学校協働活動実践事例集」には、各教育委員会が取り組んでいる事業実践の事例や、各学校が実践している地域と連携した教育活動の様子を掲載しております。多様な主体との連携による「新しいつながり」は、子供たちの学びのフィールドを地域社会全体へと広げるものです。そして、地域と学校がパートナーとして手を取り合うことで、誰もが当事者として輝けるウェルビーイングな社会の実現が、より確かなものになると確信しております。

結びに、本事例集の発刊に当たり、地域学校協働活動推進員やボランティアの皆様、並びに各学校、教育委員会の関係各位に心より敬意と感謝を申し上げます。本冊子が、各市町村における創意工夫に満ちた取組を共有する一助となり、次代を担う子供たちの笑顔あふれる未来を、地域一丸となって創り上げていくための羅針盤となることを願ひまして、発刊の言葉といたします。

令和8年3月

宮城県大河原教育事務所
所長 鎌田 雅博

目 次

発刊にあたって 大河原教育事務所長

○白石市教育委員会	白教委 1～4
実践紹介（打ち豆づくり）	白教委 5～6
学校での取組紹介（13校）	白教委 7～10
○角田市教育委員会	角教委 1～4
実践紹介（宇宙授業）	角教委 5～6
学校での取組紹介（8校）	角教委 7～8
○蔵王町教育委員会	蔵教委 1～4
実践紹介（福祉体験）	蔵教委 5～6
学校での取組紹介（8校）	蔵教委 7～8
○七ヶ宿町教育委員会	七教委 1～4
実践紹介（七ヶ宿おいしんぼたんけん）	七教委 5～6
学校での取組紹介（2校）	七教委 7
○大河原町教育委員会	大教委 1～4
実践紹介（ほうかご寺子屋）	大教委 5～6
学校での取組紹介（5校）	大教委 7～8
○村田町教育委員会	村教委 1～4
実践紹介（ぼく・わたし沼辺たんてい団）	村教委 5～6
学校での取組紹介（4校）	村教委 7
○柴田町教育委員会	柴教委 1～4
実践紹介（ドラムサークル活動）	柴教委 5～6
学校での取組紹介（9校）	柴教委 7～9
○川崎町教育委員会	川教委 1～4
実践紹介（地域の伝統文化を調べよう）	川教委 5～6
学校での取組紹介（5校）	川教委 7～8
○丸森町教育委員会	丸教委 1～4
実践紹介（干し柿を販売しよう）	丸教委 5～6
学校での取組紹介（3校）	丸教委 7
○仙南地域広域行政事務組合教育委員会	広 域 1～2

白石市の地域学校協働活動

1 今年度の事業への取組について

白石市の地域学校協働活動では、家庭・学校・地域が相互に連携・協働し、地域全体で未来を担う子供を育むことを目的とし事業を展開している。

さらに、地域学校協働本部を中心に、地域の支援団体及び個人とのネットワークの拡充を図り、ふるさと「白石」に誇りを持ち、愛着の醸成ができるよう、より充実した支援に努めている。

2 地域学校協働本部について

令和2年7月に白石市地域学校協働本部を設立。

本部には、本部長、副本部長、統括コーディネーター、地域コーディネーター（4名）、推進員（12名）地域連携担当者（各学校1名）を置き、ネットワークの充実を図っている。

3 事業紹介

（1）家庭教育支援

事業名	内容	備考
しろいし家庭教育支援チーム主催事業 「親の学びのプログラム」 出前講座	しろいし家庭教育支援チーム「ペアレントらん」が講師となり、小学校で行われる一日入学説明会等の機会を活用し、未就学児の保護者向けに、また中学生には家庭科の授業の中で出前講座を実施した。 ・未就学児保護者対象 テーマ「子供が小学校へ入学」 ・中学生対象 テーマ「親になるということ ～こんにちは！赤ちゃん～」	実施校 5校 ○未就学児保護者対象 ・白石第一小学校 ・大鷹沢小学校 ・深谷小学校 ○中学生対象 ・白石中学校 ・小原小・中学校
学ぶ土台づくり親の学び研修会	保育園の保護者を対象に、講師による講話を実施した。 ※宮城県主催・市教委共催事業	実施園 1園 ・白石みのり保育園
子育て応援！ 親子ふれあい教室	保護者を対象にワークショップを開催。同世代の子を持つ親同士の交流を図りながら、子育ての不安や悩みを解消し、親の学びにつながっている。	会場：中央公民館 回数：5回 対象：未就学児から小学生とその保護者
親子クッキング教室	活動をとおして親子の愛着形成を促進し、参加者同士の交流を育みながら、子育ての仲間づくりを支援した。	会場：中央公民館 回数：4回 対象：年中から小学生とその保護者
家庭教育支援研修会	家庭教育支援者を対象に、講師による講話・ワークショップを実施。参加者同士の交流を育みながら、人材育成と家庭教育の推進を図った。	会場：中央公民館 期日：令和8年2月13日



【親の学びのプログラム出前講座】

【子育て応援！親子ふれあい教室】

【親子クッキング教室】

(2) 地域活動支援

事業名	内容	備考
わんぱく教室	<p>体験学習などを通じて、青少年の健全育成を図るとともに、個々の創造性や集団での協調性、自主性を養成し生活力を身につける活動を行っている。今年度も地域の方々の協力を得て、交流が深まる活動を行った。</p> <p>【通年開催】ジュニア・リーダーと遊ぼう・わんぱく農業・食育教室・わんぱく大冒険キャンプ・わんぱく土器づくり教室・わんぱく環境教室・わんぱくクリスマス会</p>	<p>会場：中央公民館・国立磐梯青少年交流の家ほか 対象：市内小学校 5・6年生 参加者：16名</p>
第48回 こどもまつり	<p>野外活動・レクリエーション等を通して青少年の豊かな人間形成と相互の親睦交流を図る。シャボン玉・ペットボトルボウリング・人形劇・丸太切り体験等の遊びコーナーあり。</p>	<p>主催：白石市こどもまつり実行委員会・白石市・白石市教育委員会</p>
ジュニア・リーダー 研修及び派遣事業	<p>J・Lを対象に、子ども会の指導者としての知識や技術の習得を目指す。各地区の子ども会や児童館等の要望に応じゲームやレクダンス等を通しての青少年の健全育成を図る。</p>	<p>会場：中央公民館・蔵王自然の家・各地区子ども会等</p>
第33回 白石市生涯学習フェスティバル事業	<p>市民総参加による事業を通年にわたり積極的に展開し、市民が生涯学習に接する機会を広く設け、「ひとづくり」「まちづくり」の推進を目的として行う。</p> <p>白石城及び武家屋敷周辺に“白石を詠む”・新春囲碁・将棋大会・公民館まつりほか</p>	<p>主催：白石市生涯学習フェスティバル実行委員会 会場：中央公民館・ホワイトキューブ・市内小中学校・白石城・武家屋敷ほか</p>
「家庭の日」 推進事業	<p>地域全体で家庭のもつ役割の重要性を再認識し、青少年の健全育成と非行防止の啓発を図る。毎月第三日曜日を「家庭の日」と定め推進。市内小中学生対象に絵画・ポスターを募集し作品展開催。入選作品で啓発ポスターを作成。</p>	<p>主催：生涯学習課・青少年のための白石市民会議</p>



【わんぱく農業・食育教室】

【わんぱく教室 大冒険キャンプ】

【ジュニア・リーダー派遣事業】

(3) 学校教育支援

事業名	内 容	備 考
1 学校支援ボランティア派遣 (1) 登下校安全指導 (2) 部活動等の指導 (3) 自然体験活動 (4) 防災活動 (5) 環境整備 (6) 図書・読み聞かせ (7) 学習支援 (8) 地域理解 (9) キャリア教育 (10) 行事 (11) その他	<p>学校からの支援要請に応じて、ボランティアを派遣する。</p> <p>通年から月1程度、登下校時に小中学校で実施（あいさつ運動含む）</p> <p>中学校で卓球等の指導</p> <p>登山9小中学校・スキー11小中学校</p> <p>地域の消防団と協働し、放水・消火器体験 除草作業・校内清掃・ベルマーク整理・プール清掃・危険箇所点検</p> <p>読み聞かせは、週1から月1程度 図書の整理から図書の案内・掲示等</p> <p>家庭科支援（調理実習等）・水泳の指導・絵手紙・昔あそび支援（生活科）・アスリート講話・実演</p> <p>英語活動支援・稲作体験活動・グランドゴルフ指導</p> <p>着付け教室・福祉体験活動・ものづくり体験活動・租税教室・デートDV防止教室・ころ柿づくり体験</p> <p>伝統文化体験（能楽堂での日本舞踊・茶道） 和太鼓活動・団七踊り・神楽指導・白石の歴史魅力学習支援・講話</p> <p>地域探訪（逆さケヤキ）・工場見学 白石和紙作り・講話・こけし絵付け体験 職場体験前のマナーアップ講座・職業人講話</p> <p>文化祭・運動会・クリスマス会・豆まき・公園植栽活動支援等 賞状の浄書等・職員研修</p>	<p>白一小、越河小、大鷹沢小、深谷小、東中 福岡中</p> <p>大鷹沢小等 白一小、白二小、大平小、白川小、東中</p> <p>白一小、白二小、福岡小 越河小、大鷹沢小、白川小、深谷小、小原小中、白石中</p> <p>白一小、白二小、大平小、大鷹沢小、白川小、深谷小、南小中、白石中、小原中 可能な範囲で実施</p> <p>白一小、越河小、南小中、白石中、東中</p> <p>全小学校</p> <p>白一小、白二小、大鷹沢小、小原小、白石中、福岡中</p> <p>大平小、南小中 大鷹沢小、小原小中 白石中、福岡中、東中</p> <p>第二幼稚園、小原小中、東中 大平小、南小中</p>
2 職場体験関係	中学校職場体験学習に当たり、市内事業所の受け入れ先リストの作成、新規の開拓、当日の体験状況の巡視	白石中、福岡中、東中、小原中（2学年） 南中（全学年）
3 研修活動	登山ボランティア研修会（蔵王大黒天～地蔵岳） 地域学校協働活動研修会	期日：5月31日 悪天候のため中止 期日：12月12日 参加者：40名
4 広報活動	広報誌「清流」の発行・送付 地域活動の紹介	幼保小中に配布 公民館・ボランティアを通して回覧

(4) 放課後子ども教室

事業名	内容	備考
放課後子ども教室	放課後や週末等に小学校の余裕教室や公的な施設等を活用して、子供たちの安心・安全な活動拠点（居場所）を設けた。子供たちが地域社会の中で心豊かで健やかに育むことを目標に、地域住民の参画を得て様々な体験活動や交流活動等を実施した。 自由遊び・伝統行事体験・軽運動・絵本紙芝居等の読み聞かせ・運動遊び（ムーブメント活動）・造形活動・手作りゲーム	会場：各小学校の体育館や多目的室、地区公民館 実施学校 白一小（校内交流型） 白二小（連携型） 越河小
放課後子ども教室 スタッフ合同研修会	スタッフの人材育成のため研修会を行うとともに、悩みや課題の共有をするため情報交換会を年2回程度実施している。研修会において、感染症対策や発達障害等について共通理解を図った。	会場：中央公民館



【学校教育支援
職場体験学習】



【学校教育支援
農業体験学習】



【越河小学校
放課後子ども教室】



【白石第二小学校
放課後子ども教室】

4 成果と課題

(1) 成果

家庭教育支援については、「親の学びのプログラム」出前講座や「子育て応援！親子ふれあい教室」を開催することで、将来親になる中学生への学び支援や親同士の交流を通して子育ての不安や悩みを解消するなど、親の学びにつなげることができた。

地域活動支援については、小学5・6年生を対象に「わんぱく教室」を開催するなど、様々な体験学習を通じて個々の創造性や協調性、自主性を育み、世代間の交流を深めることができた。

学校教育支援については、学校支援ボランティアや連携担当者等を対象に研修会を開催し、地域の課題や推進の方針等について共通の理解を図ることができた。

放課後子ども教室については、地域住民の参画を得ながら様々な体験活動や交流活動を実施し、子供たちの安心・安全な活動拠点を設けることができた。また、地域住民の参画により、地域の活性化や生きがいがいづくりにつなげることができた。

(2) 課題

ボランティアの高齢化による後継者不足など課題はあるが、引き続き学校や支援者相互の理解の下、地域学校協働活動を推進していきたい。

また、地域資源をより一層生かした文化の発展や伝承に努めるため、地域学校協働活動の啓発活動とともに、支援者と学校との信頼関係の醸成を図るなど、地域学校協働本部や各種団体と連携・協力した支援体制の充実を図っていきたい。

白石市 白石市立白川小学校(総合的な学習の時間)「打ち豆づくり」

○市町名 白石市

○学校名 白石市立白川小学校

○期 日 令和7年12月9日(火)

○内 容 総合的な学習の時間(3・4年)

「大豆博士になろう」

「大豆を育てて豆腐を作ろう」

- ・大豆の栽培・収穫・加工等の体験活動を通して、地域やボランティア団体の方々と主体的・協働的に関わり、社会性や協調性を育む。
- ・体験活動から問いを見だし、その解決に向けて見通しを持って調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにして「大豆新聞」にまとめる。

○講 師

白川公民館白川振興会議 佐藤 昭子 氏

白川地区民生委員児童委員 相原 晴美 氏

白川地区主任児童委員 佐藤 みつ恵 氏



○児童の声

- ・ぼくは、この体験を通して「打ち豆」というものを初めて知りました。今まで見たことも聞いたこともありませんでした。丸い大豆を水につけておくとラグビーボールみたいになるのが

不思議でした。大豆をたたくときは真上からたたくのがポイントでした。1回できれいに平らになると気持ちよかったです。早く食べてみたいです。

- ・日本海側の寒い地方の保存食だということを知りました。宮城県の隣の福島県でも食べられているということを知って驚きました。宮城県でも仙南の一部で食べられていたそうです。今度、おじいさんとおばあさんに聞いてみようと思います。雪の多い地方の人々の知恵がつまった食べ物だと教えてもらい、感心しました。



- ・水につけて柔らかくなった大豆をたたくのが楽しかったです。ちょっとずれてたたくと、平らにならずにどこかに飛んでいってしまいます。それに、一つ一つ皮を取るが大変でした。つぶれた大豆はコーンフレークのようなものでした。このように薄くすることで料理の時間が短くなるということを教えてもらって、「昔の人はすごいな。」と思いました。
- ・昔は囲炉裏の周りで石の上に大豆を置いてたたいていたそうです。昔の様子が想像できました。テレビやインターネットがなかったので、家族で楽しく話をしながら、たたいていたと思います。それに囲炉裏の周りなら「打ち豆」を乾燥させるのも楽だったと思います。

・早く家に持ち帰って食べてみたいです。「みそ汁」にするとおいしいと言っていたけど、ぼくは炊き込みご飯が好きなので、ひじきと一緒に炊き込みご飯にしてもらいます。きっとおいしくなると思います。自分で作るなら、炒飯に入れてみたいです。

○講師から



数年前、学校から「大豆を使った地域の郷土食はありませんか」という問い合わせがあり、調べてたどり着いたものが「打ち豆」でした。かつては仙南の一部でも作られていたことが分かったので、学校にお勧めしました。雪深い地方の保存食ということで豪雪地帯に認定されている白石（最近は降らなくなりましたが・・・）でも昔は食べられていたかもしれません。正直、私自身は「打ち豆」のことは全く知りませんでした。インターネットで作り方を調べて、何度か試作しました。白川小の子供たちと一緒に「打ち豆作り」をすることができ、とても楽しかったです。

次の「豆腐作り」も楽しみです。



○教職員の声

白川小学校では、毎年学校農園で枝豆を育てています。今年は、6月に全校児童で「秘伝豆」と「湯上り娘」の2種類の豆を植えました。途中、雑草取りをしながら、生育を見守っていましたが、今年の夏の暑さのせい、成長が今一つで、例年通りの収穫ができませんでした。そんな中、3・4年生が「打ち豆」を作りました。ゆでた大豆をつぶして乾燥させるという「打ち豆」は昔からの保存食で、主に北陸地方で食べられているそうです。地域の方にもお手伝いいただき、懸命に豆をたたき、ザルいっぱい「打ち豆」が出来上がりました。出来上がった「打ち豆」を家庭に持ち帰り、豆料理を作ってもらう予定です。どんな料理に変身するか楽しみです。

（3・4年担任 高橋 広美）



○教育事務所から

保護者や地域、関係機関と連携しながら、ふるさと「白石」のよさを実感できる教育活動を実施している白川小学校。体験活動による交流をとおして、子供たちや地域が輝き、ともに新しい価値を創造しようとする姿は、学校教育目標でもある「生き生き輝け白川っ子」につながっていくと感じました。



白石市立白石第一小学校



〒989-0259 白石市字半沢屋敷前2番地2
TEL 0224-25-3259
FAX 0224-24-2686

児童数 320人

交通安全教室



1年生は地域の皆さんに見守られながら交通ルールを覚えます。

地域歴史学習



6年生が、市内在住の学芸員に白石と会津の歴史的な関わりについて教わります。

学校安全委員会



児童会代表も加わり、地域の方と一緒に学校安全教育の取組について話し合います。



白石市立白石第二小学校

“夢 挑戦 新たな一歩”

すすんで学びよく考える子 やさしくおもいやりのある子 たくましく心と体をきたえる子

〒989-0226 宮城県白石市字白石沖29
TEL:0224-24-2676 FAX:0224-25-3578

児童数 519名
P会員数 392名

アルカス隊



白石警察署と連携して「白石二小アルカス隊」を立ち上げ、校区の安全点検やお堀の清掃活動への参加、防犯を呼びかける劇の上演など、児童だけでなく地域の方々の安心・安全に向けた取組を行っています。

城下町クリーンアップ作戦



城下町白石市の市民としての自覚を高めるとともに、シビックプライド(郷土愛)の醸成を目的として、白石城周辺の清掃活動を行っています。ごみの分別だけでなく地域の方々の安心・安全に向けた取組を行っています。

ボランティア感謝の会



地域ボランティアとして、学校を支えてくださっている皆様に感謝の気持ちを伝える会を行っています。感謝の心を言葉や態度で表すことができる児童を目指しています。



白石市立越河小学校



体験・貢献・笑顔のある学校、
一人一人が活躍する越河小を創造する

〒989-0113 宮城県白石市越河字丑山下44
TEL 0224-28-2008 FAX 0224-28-2048

児童数 24名
P会員数 18名

スマイルふぁーむプロジェクト スマイルフラワープロジェクト スマイルころも柿プロジェクト



地域の方との野菜作りをとおし、地域とのつながりを深めた。



全校児童で花を育て、メッセージを添えて地域のお年寄りに届けた。



「つながる越河の会」と連携し、ころも柿を作り地域のお年寄りに届けた。



白石市立大平小学校



〒989-0217 白石市大平森合字権現山1番地
TEL 0224-25-3709 FAX 0224-25-3745

児童数 65名

地域学校協働活動



【ミニチュア盆栽づくり】
仙南の造園業の方から身近な植物を使った盆栽づくりに取り組む。



【米づくり活動】
3・4年生が地域の方と一緒に田植えから収穫までの稲作に取り組む。



【逆さヤキ探訪】
地域の方の案内で県の天然記念物「逆さヤキ」を目指して登山する。



【大平っ子フェスティバル】
普段からお世話になっている地域の方を招待し交流する。



白石市立大鷹沢小学校

〒989-0213 宮城県白石市大鷹沢三沢字五丁目24-1
TEL:0224-25-3714 FAX:0224-25-4052
児童数：25名

たてわり異学年交流



3つのたてわり班に分かれ、様々な活動を行います。たてわり外遊び、たてわり清掃、たてわり運動交流、たてわり安全点検等、児童による企画・運営を行い、主体性を育みます。

地域の方との交流会・感謝の会

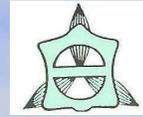


「グラウンドゴルフ交流会」「干し柿づくり」「白石温麺交流会食会」「ぶち合わせ太鼓」「団七踊り」「感謝の会」等の行事をとおし、地域と互いに学び合い、育ち合う体制を構築し、「行きたくなる学校づくり」の推進を行うとともに、ふるさとを愛する心の基盤を育みます。

地域伝承活動～団七踊り～



地域に伝承されている「白石噺」の団七踊りの学習と、踊りの伝承をとおして、地域を大切にするとともに、人と人とのつながりを大事にする態度を育てます。



白石市立白川小学校

〒989-1102 白石市白川津田字大淵 30 児童数 44名
TEL 0224-27-2103 FAX 0224-27-2104



【動くジャンボカルタ取り大会】
48年の伝統ある行事です。



【白川ウオークラリー】
学区の良さを体感しました。



【大豆の栽培・豆腐づくり】
地域の方に教えていただきました。

～自ら学び 心豊かに たくましく生きる子供の育成～

白石市立福岡小学校



〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字陣場 1 児童数 125名
電話:0224-25-3359 FAX:0224-25-1422

伝統を知る学習



白石市に江戸時代から伝わる伝統工芸「白石和紙」を使った絵でがみ作りに取り組んでいる。講師の指導を受け、自由な発想で表現した作品は、寿丸屋敷の絵でがみ展で飾られた。

地域人材の活用



生活科の昔遊びについて学習する際にお年寄りから、お手玉やこま回し、けん玉などの遊びを教えていただいている。福岡地区公民館にお願いし取り組んでいる。

自然体験活動



登山(5年)やスキー教室(4年)などの自然体験を行う際に、地域学校協働活動として、ボランティアの方々との専門的な知識を生かしながら活動を実施している。



白石市立深谷小学校

〒989-0731 宮城県白石市福岡深谷字松田 23 児童数 47名
TEL 0224-25-3536 FAX 0224-25-3509

「一斉下校時の安全見守り」



一斉下校の際、民生児童委員・主任児童委員の方々と一緒に歩き、安全を見守る。

「ふれあい交流会」



よみがえる青年学級の皆さんと昔の遊びなどを通して触れ合いながら交流を楽しむ。

「感謝の会」



お世話になった方々を招待し全校太鼓を披露するなど、感謝を伝える。



中学校併設型小学校

白石市立小原小学校

(小原学園)

〒989-0233 宮城県白石市小原字伊勢原道上1番地

TEL 0224-29-2026 FAX 0224-29-2057

児童数 11名

地区奉仕活動	グランドゴルフ	地域調査活動	みんなで遊ぼう会
自然やふるさとを大切にすることを育てるねらいをもとに、地域にある施設(アウターコート・材木岩公園)の清掃活動に継続的に取り組んでいます。	地域で熱心に活動されている愛好会の皆様を講師に迎え、「グランドゴルフ」に挑戦しました。ルールや技術面を丁寧に教えてくれます。	「小原の自然環境」をテーマに水・森・土を1年ごとのサイクルで探究活動を行っています。小学5年生から中学1年生の合同で進めています。	保護者や地域の方々を招待し、自分たちで手づくりしたおもちゃで楽しんでもらいます。自分たちも楽しみながら交流を深めています。



白石市立白石中学校

生徒数 342名



〒989-0248 宮城県白石市南町1丁目2-79

電話番号 0224-25-3363 FAX 0224-25-3386

地域づくり活動	職場体験	PTA 教育講演会
白石市の特徴やよさを踏まえ、道の駅らしい(仮)を提案し、発表した。	地域周辺の事業所に協力をいただき、勤務観や礼儀を学んだ。	若柳梅京氏による講話を聞いた。日本舞踏を通じて白石市の魅力を学んだ。



白石市立福岡中学校

〒989-0232 宮城県白石市福岡長袋字山ノ下25

電話 0224(25)3357 FAX 0224(25)3508

生徒数 77名

P会員数 89名

PSC あいさつ運動	志教育ギフトプロジェクト「開運干支巳飾り」を贈ろう	福岡中学校区 地域安全生徒会
地域の安全やいじめ防止に取り組むPSC隊員があいさつ・防犯運動を行っています。校内の他にも、朝の運動、通学時刻に合わせて、駅前であいさつ運動を行います。	自分たちの目線から見た地域のよさを積極的に発信しようと、名産品である白石和紙を使って「繁栄」や「再生」を表す「巳飾り」を創作しました。市内の保育園や小学校、高校、公民館などに贈りました。	地域連携・小中連携の視点から、地域住民の方や小中学生が交流することを通し、防災意識を高めるとともに、自己効力感を育み、将来積極的に地域に貢献しようとする態度を育みます。



白石市立小原中学校(小原学園)

〒989-0233

宮城県白石市小原伊勢原道上1

TEL 0224-29-2027

FAX 0224-29-2057

生徒数 5名

総合的な学習:伝統の継承	地域の奉仕活動	体育科:「弓道」の授業
地域の伝統である和太鼓の学習を行っています。外部講師の指導のもと、中学生は全員参加して、学園祭や検断屋敷祭りで練習の成果を発表しています。	小原小学校と合同で地域の施設の清掃活動に取り組んでいます。また、スパシユランドパークでも地域の方々と協働し清掃活動に取り組んでいます。	保健体育科の武道の授業では、「弓道」を取り上げ活動しています。外部講師や地元の弓道会の皆さんの指導のもと、昨年度は県中総体に出場しました。

白石市立 東中学校

〒989-0213
宮城県白石市大庭沢三沢字熊野堂6番地3
電話 0224-25-5575
FAX 0224-25-5623
生徒数 244名



交通安全教室



交通指導隊の方から交通安全、自転車の乗り方等をご指導いただきました。

ゆかた着付教室



着物教室の皆さんに、浴衣の着方、作法等を教えていただきました。

吹奏楽部演奏



吹奏楽部が、春祭りや地域の敬老会などで演奏を発表しています。

白石市立白石南小学校・白石南中学校 (白石きぼう学園)



〒989-0112
宮城県白石市越河平字平合23-1
TEL 0224-28-2013
FAX 0224-28-2016
小学生 8名・中学生 27名

職業体験・職場見学



このほか多くの市内企業等に協力いただきました。

「腐葉土づくり」



落ち葉を集めてかき混ぜて、地方振興事務所の方々から腐葉土の作り方を教えていただきました。作った腐葉土は今年度の農業体験に利用し、豊作を目指します。

東北福祉大学との交流事業



東北福祉大学の学生と、白石和紙を使って制作活動を行いました。

完成した作品は、白石市内の寿丸屋敷で展示されました。

